

ぶらりと 大宰府に 行ってきました part2



南門跡



特別史跡 大宰府政庁跡

奈良・平安時代にかけて、九州を治め外交・軍事・経済を担った役所大宰府が置かれた。ここはその中枢平面復元された建物の礎石が往時を偲ぼせる。

広大な大宰府政庁跡を、しっかり踏みしめて、いよいよ 話題の坂本八幡宮に向かいます。

台風くずれの天候も、傘、出す？いいか？迷うくらい・・・そこは思っていたより 小さなお社でした。



坂本八幡宮



わが岡にさ男鹿来鳴く
初萩の花婿問ひに
来鳴く男鹿 大伴旅人
巻八・一五四一



正月立ち春来たらば
かくしこそ梅を招きつつ
樂しき終へめ
巻五・八一五 大式紀卿

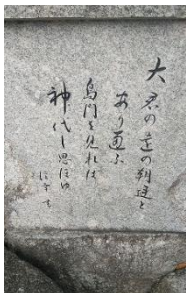
この辺りは太宰帥大伴旅人の邸跡と伝えられてると記されている
「令和」の決定ごの喧騒のあとがつたわる、貼り紙を目にします

梅花の宴の主賓、中国唐来の梅を読む



大宰師大卿
よのなかは
むなしきものと
しるときし
いよますます
かなしかりけり
巻五・七九三

大宰府政庁前から南に朱雀大路に向かっ
て歩きます
朱雀大橋のたもとに朱雀門礎石と
人麻呂歌碑



大君の遠の朝廷とあり通ふ
島門を見れば神代し思ほゆ
柿本人麻呂 巻三・三〇四



1982年12月御笠川、河川改修工事の際、現朱雀大橋の真下から発見された南正門（推定）

水城に向かいます、西鉄都府楼前駅からコミュニティバスに乗るため朱雀大路を西に歩きます